

放射線治療された肝細胞がん、転移性肝腫瘍の患者さんへ

1. 研究の対象

新潟県立がんセンター新潟病院で放射線治療した肝腫瘍患者

2. 研究目的・方法

目的

金マーカーは小さな金の粒（長さ 3～5mm, 直径 1mm ほど）で、純金に近い金属でアレルギーを起こしにくく、生体への反応が少ない安全な素材で出来ている。金マーカーを腫瘍の近くに入れることにより、X 線や CT でははっきりと見えるため、がんの位置を正確に読み取ることが可能となり、がんだけに放射線を集中させることができる。一方で、金マーカー留置の動態追尾における肝腫瘍の照射後の肝予備能に関しては報告が少ない。金マーカー留置前後で、放射線治療された肝細胞癌の肝予備能を含めた臨床的特徴を明らかにする

方法

診療録を用いて臨床データを収集する。保存されている放射線画像、血液検査データを用いて肝予備能や、後治療への移行率、金マーカー留置の手技的安全性の検討を行う

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、カルテ番号 等

試料：放射線画像、血液検査結果 等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関や海外に提供する予定はありません

5. 研究組織

新潟県立がんセンター新潟病院

新潟県立がんセンター新潟病院	消化器内科	荒生祥尚	医長
----------------	-------	------	----

新潟県立がんセンター新潟病院	消化器内科	今井径卓	部長
----------------	-------	------	----

新潟県立がんセンター新潟病院	消化器内科	佐野知江	部長
----------------	-------	------	----

新潟県立がんセンター新潟病院	消化器内科	塩路和彦	情報調査部長
----------------	-------	------	--------

新潟県立がんセンター新潟病院	消化器内科	小林正明	副院長
----------------	-------	------	-----

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連書式 19 新潟県立がんセンター新潟病院 情報公開文書

資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟県立がんセンター新潟病院（ 消化器内科 ）

当院研究責任者：（荒生祥尚 ）

連絡先：新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3

TEL：025-266-5111

研究代表者： 新潟県立がんセンター新潟病院 荒生祥尚